国際ロータリー第 2620 地区 藤枝ロータリークラブ 会報 2021年 7月 28 日(水)No. 4



FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報



会 長:江崎 晴城 副会長:鈴木 邦昭 幹事:山田 賀昭・平野 純也 副幹事:村松 繁・菅原 慎司 SERVE TO CHANGE LIVES

第2351回

通常例会/小杉苑

ERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために

■ 会 長 報 告

江﨑 晴城君



ややり遂げた笑顔をみるとやはりオリンピック の主役は国や組織でなく、選手たちひとり一人 なのだと感動させられます。

ちなみに昨日宮城スタジアムで行われた、な でしこジャパン対チリの一戦に島村さんが応接 に行かれたそうです。羨ましい限りです。

さて、最近発売された寿がきや冷し藤枝朝ラーカップ麺を本日サンプルでお渡ししました。

藤枝の食文化、B級グルメとして朝ラーは、 近頃更に注目されています。食べるためにわざ わざ藤枝に来られる方が増えていて、観光の観点 でもキラーコンテンツになっています。

先々週放送された秘密のケンミンショーでも 取り上げられました。

また静岡県内セブンイレブンで80万食、寿がきやカップ麺は50万食販売されているようです。 店頭に藤枝の文字があるパッケージが並ぶことの経済効果もあり、藤枝市が依頼した静岡経済研究所の経済連関表によると毎年10億円の経済効果があるといいます。

案外地元の方がお店に食べに行くケースが少ないようですので、どうかカップ麺を食べて朝ラー 応援団になっていただければ幸いです。

本日の例会は、私から 50 周年イヤーのコンセプトを少しお話しさせていただき、そのあと、たっぷりと中部電力の遠藤さんから新会員卓話をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

■ 幹事報告

平野 純也君

・国際ロータリー日本事務局より 在宅勤務延長のお知らせが届きました。

■ 出席報告

土屋 富士子君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者	
38/42 90.47%	37/42 88.09%	

(1)欠席者(事前連絡とメークアップをどうぞ) 大杉君 落合君 鈴木舜君 仲田晃君

グスト

フィン ティ タンさん (米山奨学生)

■ ロータリーの友紹介

青島 彰君

『ロータリーの友 7月号紹介』



ロータリーの友 紹介担当の青島です。1年間 お付き合い願います。

年度当初号ですのでRI会長 シェカール・メータ氏のメッセージがp8から掲載されています。

今年度RIテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」が掲げられています。 RI会長はみんなの人生を豊かにするためには 国家規模でのプロジェクトやプログラムに、 今以上に力を入れことが必要であると説いています。 大規模で野心的な奉仕プロジェクトに取り組む ことを可能にするのには会員増強が最も必要な ことであるとメッセージされています。

RI会長は会員増強の方法として各会員が新しい人を一人ロータリーに紹介すれば来年の7月には130万人に増えます。ほんとでしょうか?10年以上前から藤枝RCも会員増強に取り組んでいますがなかなかうまくいかないのが現状です。

では、横組 p 60 の地域別会員数を見ると、国内の会員減少数は一年間で 2,657 人が退会しています。第 2 6 2 0 地区では 7 1 人が退会しています。全国クラブ数が 2,246 ですので 1 クラブ当たり 1.2 人です。数字的には 1 年間各クラブ2 人の増強を目標にするのも気分的には気楽であるように思います。

縦組 p 2 4 ロータリーアットワーク欄には様々な地域プロジェクトが掲載されているので事業を予定している委員会としては参考になるかも。「ロータリーの友」について

発行部数多い時には142,000部、現在は95,000部

RI指定記事 『The Rotarian』の記事の中からRIが指定してきた記事は必ず掲載することとなっている。目次にRI指定記事の表記がある。7月号ではRI会長メッセージ、RI会長紹介、RIの委員に応募しませんかが指定記事となっています。

江﨑 晴城君









■ 新会員卓話

遠藤 達哉君



事業紹介につきましては、半年前の話しになりますが、昨今の電力事情についてお話しさせていただきます。

現在、東京にコロナ禍による4回目の緊急事態 宣言が発令されていますが、2回目の緊急事態 宣言が発令された今年1月に、電力業界におい ても電力緊急事態宣言と呼ばれる状況になって いました。

10年に1度と言われる非常に強い寒波により、 1月前半の全国の電力需要は昨年比1割増しと 大幅に増加しましたが、これに対し、よもや電力 供給量が追い付かないという状況でありました。

電力消費量が発電量を上回ると周波数が乱れ 大停電を起こす可能性があります。2018年 に北海道で発生した「ブラックアウト」という 現象です。

今年2月13日には東京電力PGが、福島県沖の地震の影響により、富士・富士宮市の需要家

を含めた95万戸を強制停電させました。これは福島県沖の地震の影響により火力発電所が停止したためで、需給のアンバランスにより首都圏など東電管内全域でブラックアウトを起こさせないために実施されたものです。

通常、使用率(発電量に対する消費量)が97%を上回ると安定供給に支障が出かねないと言われていますが、今年1月12日には、関西や四国、東北で97%を上回り、他の地域でも90%台後半の使用率となりました。

今回の供給力不足は、悪天候により太陽光発電による発電が減少する中で、発電を火力発電所に頼らざるを得なく、その主流となる LNG 火力発電所の燃料在庫が不足したことが原因であり、瞬間的な電力の供給力(最大使用量に対応できる「発電設備」の確保)の不足に合わせ継続的な電力の供給力(累計の使用量に対応できる燃料の確保)が不足する形となりました。

LNG 火力は現在、国内電力の4割を担っていますが、LNG は揮発性が高く長期備蓄が困難であること (約20日分の在庫)、短期調達には2カ月程度かかるため急な需要変動に対応できないと言った特徴を持っています。これらに加えて原産国でのLNG 供給設備トラブル、寒波による中国・韓国における LNG 需要の急増、コロナの影響による輸送遅延などが LNG 不足となった要因でもあります。

電力各社では、電力間融通を行うとともに、 老朽火力の稼働や定格出力を越えての稼働、 自家発保有企業様への電力供給依頼などを実施 しました。関西・四国・北陸では、災害時に使用 する高圧発電機車をも活用しました。

これらを受け卸電力取引市場では、価格が高騰しました。1月中旬には通常は10円以下程度の価格が、日別で150円、30分別で250円という高値になりました。

「市場連動型」のプランを提供する新電力においては、お客さまの1月分の電気料金が2~3倍となるような事象も発生し、HPで他社への契約切替を案内した新電力もありました。

2021年度の夏季・冬季の電力需給も厳しい見通しがされています。

夏季は、安定供給に必要な電力をかろうじて確保 できますが、ここ数年で最も厳しい見通しです。 冬季は、東京エリアにおいて安定供給に必要な 電力が確保できない見通しです。

夏季の予備率の想定です。過去10年で最も 厳しい気象条件となった場合でも、地域間連系 線や火力発電所の出力増加等、非常時の調整力 を活用する事により、安定供給に最低限必要と される予備力3%を確保できる見通しです。

東電管内では、今週は80%台後半ですが、 7月19日に96%を記録しました。

冬季の予備率の予想です。過去10年で最も 厳しい気象条件となった場合、東京エリアでは、 地域間連系線や火力発電所の出力増加等、非常時 の調整力を活用しても、安定供給に最低限必要 とされる予備力3%を下回る見通しです。

地域間連系線には容量に上限があるため、東北 エリアから最大限の融通を行っても東京エリア では供給力不足が発生します。

不足分の電力は「東京エリア内で確保」する必要があります。

不足する電力を補うために、発電機を保有する お客さまへの電力融通お願いや、冬季に予定 されている火力・水力発電所の補修点検時期の 変更、休止中火力の再稼働、お客さまと使用量 抑制の契約を結ぶなどの対策が取られる予定です。

電力各社は、この様な事象も踏まえ、今後も エネルギーミックスを進めて行きます。

厳しい状況下ではありますが、安定した電力を お届けできるよう電力間連系も含め対応してま いります。



















ソングリーダー…… 八木 晋介君 ソング…… 我らが藤枝ロータリー

四つのテスト



《7月・8月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
26	27	28	29	30
閉局	10:00~	9:30~	10:00~	閉局
	16:00	16:00	16:00	
月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
閉局	10:00~	9:30~	10:00~	閉局
	16:00	16:00	16:00	
9	10	11	12	13
閉局	10:00~	9:30~	閉局	閉局
	16:00	17:00		
16	17	18	19	20
閉局	10:00~	9:30~	閉局	10:00~
	16:00	16:00		16:00
23	24	25	26	27
10:00~	閉局	9:30~	10:00~	
16:00		16:00	16:00	
30	31			
10:00~	10:00~			
16:00	16:00			

※ 開局日時は変更になる場合があります。 最新の情報は、ホームページでご確認ください。 事務局 〒426-0037 藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21 TEL054-647-2300 FAX054-647-2040 E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/河森君)